

# 社会科学習指導案

日 時 10月13日(木)5校時  
学 級 1年B組(男子16名 女子20名 計36名)  
指導者 教諭 佐藤 志津江

## 1 単元名 第2編 いろいろな地域を調べよう 第2章 都道府県を調べよう～岩手県の調査～

### 2 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、3つの規模の地域を取り上げて実際に地域的特色を追究する調査活動を通して、自らの力で地域的特色をとらえる調べ方、学び方を身に付ける態度の育成を目指すものである。授業では、3つの規模について段階を踏みながら、また、追究方法に変化を加えながら「自ら調べ、考え、発表する」態度を育てたい。

「都道府県の調査」では、岩手県、東京都を学習する。それぞれに多様なところもあれば、全く違うところもある。自分たちの住んでいる岩手県と比較しながらも調査を進めていきたい。

#### (2) 生徒の実態

教研式CRT調査の結果については、【社会的事象についての知識・理解】は若干下回っているものの、その他の3つの観点については、全国水準を上回っている。

ほとんどの生徒が意欲を持って授業に取り組んでいる。特に男子の一部が積極的に作業に取り組んだり、発表をしたりしている。そのため、女子生徒や一部男子生徒の理解の定着が弱いまま、授業が進んでいる現状もある。

授業では、場所当てクイズから、岩手県にいろいろな景観があることを知り、調査学習に興味を持たせたい。また、場所を予想できない生徒を抽出し、支援の手だての有効性について検証したい。

#### (3) 指導観

都道府県学習の最初である。学校所在地の都道府県である岩手県の学習から、都道府県学習に興味を持たせたい。そして、東京都でも地域的特色を追究し、統計的にまとめる力まで付けさせたい。

本授業では、場所当てクイズに個人、グループで取り組ませる。写真から読みとった根拠を元にそれがどの場所か予想させたい。そして、岩手県の多くの景観から、自分の調べたいことを見つけださせたい。

#### (4) 研究主題との関連

本時の授業は、「『思考力の育成を基盤とした授業改善』 - 学習動機の明確化 - 」の段階である。岩手県の調査で、調べ学習の基礎を培い、東京都の調査で資料の選択方法、資料収集の方法など調査学習の理解を深めていきたい。

本研究は、資料活用を利用した学習活動の工夫により、知識を活用して考えたり、調べたことをわかりやすくまとめる力が育つことを明らかにするものである。

### 3 単元の目標

【社会的事象への関心・意欲・態度】

調査する都道府県に対して興味を持ち、意欲を持って調査することができる。

【社会的な思考・判断】

自分が調べたい課題を考えることができる

【資料活用の技能・表現】

調査する都道府県について、写真や統計資料などを使い、調べ、まとめることができる

【社会的事象についての知識・理解】

調査する都道府県の、県庁所在地、人口数、主な山川名を理解することができる

### 4 指導計画と評価規準

次	時	指導目標	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
学習 動機 の 明 化	1 本 時	写真からどの場所か考え、調査の課題を見つけることができる		写真資料から、自分が調べたい課題を決めることができる (ノート)	写真資料を読みとり、地図帳をもとに場所を予想することができる (プリント)	
	2 3 4	資料を収集させ、課題を解決する			課題について、統計資料やパンフレットなどで資料を収集し、まとめることができる (レポート)	
理 解 の 確 認	5	東京都の特色、あらましについて理解する	人口や交通、首都機能の集中などに着目することができる (観察)		東京都の特色、あらましを地図帳を使って調べることができる (ワークシートへの書き込み)	
	6 7 8	東京都の地域的特色をまとめる			商業、工業、交通、人口などの都市の課題について、統計資料や文献などで資料収集し、まとめることができる (レポート)	

活用場面の設定	9	単元の復習				各都道府県、調査に関する基礎的・基本的用語を理解する (ワーク・プリント)
---------	---	-------	--	--	--	--

## 5 本時の目標

### (1) 目標

- ・ 写真資料から、自分が調べたい課題を決めることができる【思考・判断】
- ・ 写真資料を読みとり、地図帳をもとに場所を予想することができる【技能・表現】

### (2) 本時の評価の観点と具体の評価基準

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手だて
思考・判断	自分が調べたい課題を選び、発表することができる	自分が調べたい課題を決めることができる	発表者の意見を参考にして、課題を選ばせる
技能・表現	どの場所か予想し、その根拠まで発表することができる	どの場所か予想することができる	班体型にすることにより級友の意見を知ることができる状況を作り、考えさせる。

( 4 ) 展開

	学習活動・学習内容	留意事項・評価	配付資料・教具
導入 5分	1 都道府県の斉唱 東北地方の位置と名称	声を出して読んでいるか	黒板
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     岩手県の調査(1)                      ~ 景観写真をもとに、岩手県についての調査テーマを決めよう ~                 </div>			
展開 35分	3 場所当てクイズ(個人) ・自分たちが住んでいる北上市の写真 写真資料を観察させて、どの場所か答える	<p style="text-align: center;"><b>【技能・表現】</b></p> 写真を見て、どの場所か予想することができたか。  北上市であることを理解できたか。	写真 白地図
	4 場所当てクイズ(6人班) ・県北地域(レタス高原) ・沢内村(豪雪地帯) ・三陸海岸(リアス式海岸) ・葛巻町(山地・牛の放牧) ・一関市(北上川と水田) ・盛岡市(町並、岩手山) 写真資料を観察させて、どの場所か予想し、理由を発表する。	班ごとに検討し、班としての予想をまとめることができたか。  予想した根拠も盛り込んで発表することができたか。 ・発表する生徒は教師から指名し、全員に発表させる。 岩手県の地図にそれぞれの場所に写真を貼ることができたか	写真 地図
	5 作成した地図の読み取り	・岩手県にはいろいろな所がある。 ・北上川沿いに水田が広がっている。 ・北側は水田はなく、畑がある。	プリント
終末 10分	7 調査大テーマを決める。	<p style="text-align: center;"><b>【思考・判断】</b></p> 調べたいテーマを決め、理由まで書くことができたか。	ワーク ノート